

# 丑年生まれの方に お話を伺いました!

丑年 男女



城谷 博樹

昭和36年生まれ

小屋浦二丁目

新年明けましておめでとございます。

結婚を機に坂町に移り住み、早25年が経ちました。仕事と子育てのめまぐるしい日々であつという間に時が過ぎたように感じます。ついに私も還暦を迎えることになり、信じられない気持ちでいっぱいです。心身共にまだまだ若いつもりではありますが、鏡に映った姿を見ると、確実に年を重ねており納得する自分があります。

子供たちは進学を機に家を離れ、今は妻と二人きりの生活となりましたが、いつまでもフレッシュな気持ちで末永く健康で仲の良い夫婦で過ごせればと思います。

昨年は新型コロナの影響で数々の行事が無くなり、自粛ばかりで気持ちも暗くなりがちでしたが、今年はコロナに負けず、人の温かみを感じることが出来るような明るい一年を願います。最後になりましたが、皆様のご健康と坂町の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



今田 陽子

昭和48年生まれ

平成ヶ浜二丁目

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このような機会をいただき、ありがとうございます。私には、二人の子どもがいます。上の子どもは思春期真っ只中の中学生で、まだまだ親も子も成長過程にあります。母親学級から始まり、地域の活動を通じてご縁をいただいた皆様に支えられながら、日々、育てていただいていることに感謝しております。

私は坂小学校PTA理事を務めさせていただいています。コロナ禍で例年のような行事の開催が難しい中、感染の予防に努めながら、子どもたちのために楽しいイベントを企画してくださる先生方には、いつも頭が下がります。私も微力ながら、今後も地域・保護者の皆様と一緒にPTA活動に協力して参ります。子どもたちの笑顔が地域の活力となり、明るい未来を創り出すことを願っております。

末筆となりましたが、コロナの一日も早い終息、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



河崎 優子

昭和60年生まれ

横浜中央一丁目

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年で坂町の暮らしも11年目。4人のかわいい子ども達に囲まれ、目が回る幸せな毎日をごしています。

10年前、坂町へ越してすぐに参加したなかよしハウスのオープンスペース。右も左も分らない私達親子に先生方、地域のお母さん方があたたかく迎え入れて下さったこと、今でも鮮明に思い出します。そんな出会いから10年、当時に会ったお母さん達と子育てや人生の悩みを語り合い、楽しい時は笑い合い、大変な時は支え合い、この年になっても心から信頼できる友人が出来たことに感謝しています。

私は坂町に来て、人の「あたたかさ」に出会いました。また、子ども達も良い仲間に出会い地域のあたたかさに触れ、成長してくれていることをうれしく感じています。

潮の香り、汽船や電車の音、自然豊かな坂町。暮らし始めてすぐに「ずっとこの町にいたいな」とあの時感じた気持ちは今も変わらず、ここが子ども達の「ふるさと」と思っています。

最後になりましたが、今年も心穏やかに過ごせますよう、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。